



事務所にて「はばたく中小企業・小規模事業者 300 社」の賞状と、看板商品「L.T. Cooker」を持つ戸頃智浩専務

商工会には自社の事業を通じて地域に貢献したいと「顔晴っている」会員さんが多くいらっしゃいます。今回は、真岡市二宮地区にある(有)田村工機の戸頃智浩専務にこれまでの歩みや事業にける想いなどをお伺いしました。

はじめに事業の概要をお伺いします

当社は 1973 年に祖父が創業しました。社名の田村は、祖父の苗字です。金属の精密切削加工を専門とし、お客様のニーズに応じた部品を小ロットから製造しています。2022 年からは、新事業としてアウトドア商品を製造する自社ブランド TMR industries (ティーエムアール インダストリーズ)」を始めました。この二本柱で事業を行っており、どちらもお客様に高品質な商品を提供すべく、研鑽を積んでいます。



TMR industries の理念。
ものづくりへの不断の努力が込められている

企業情報

会社名：(有)田村工機
住所：真岡市石島 723
電話：0285-74-0574
代表取締役：戸頃 宏文

CONTENTS

- ・顔晴る企業紹介 (にのみや商工会)..... 1・2
- ・伴走支援の現場から (那須町商工会) 3
- ・商工連通常総会開催..... 4
- ・新会長の紹介、県青連、県女性連通常総会..... 5
- ・長会長 (下野市) が産業功労表彰を受賞..... 6
- ・賃上げ環境整備支援事業のご案内..... 7
- ・商工会からこんにちは (にのみや商工会) 8

新設備の導入へ

戸頃智浩専務（以下、専務）は飲食店に勤務後、20歳で(有)田村工機に入社し、今年で26年目になる。社長である父のもとで金属加工の技術を磨いてきたが、自社の設備で対応できる加工技術に限界を感じていた。同時に、業界の値下げ競争に直面し、コストダウンを要求され利益が減少。コロナ禍で受注も落ち込み、会社は経営の危機に立たされた。現状を打開しようと、より高品質な多品種製造や、新商品の開発にも応用可能な最新の5軸複合加工機の導入を決断した。



(左) 開発したLTクッカー。美しいデザインも人気の一つ。
（※写真は鍋底を上にして撮影）
(右) LTクッカーの使用写真



起死回生の一手

コロナ禍のある日、専務は休日を利用して趣味の登山をしていた。厳冬の白根山。疲労困憊のなか、温かいラーメンが食べたいとお湯を沸かし始めたが、極寒の中で待つ時間は永遠のようだった。「もっと効率よく熱伝導性を高めて、すぐに沸くクッカー（アウトドア用の小型の鍋）があれば…」と下山しながら頭の中で何度も図面を描いた。そして、この経験から着想を得た新商品の開発に向けて、従業員と共に試行錯誤する日々が始まった。父からは本業に専念してほしいと不満を口にされることもあったが、絶対に会社の利益になると信じて開発に明け暮れた。

こうして完成したのが「L.T. Cooker (以下、LTクッカー)」。軽量かつ瞬時に沸騰する画期的なクッカー（重量78g、水350mlが95秒で沸騰）は、コロナ禍当時のキャンプブームも追い風になり、発売すると瞬間にヒット商品となった。鍋底の突起は、熱を立体的に吸収し効率よく排出する機能を持つ。この発明は「熱伝導性を高めた調理器」として特許を取得した。

多くの反響、そして感謝 — 商工会の支援も一役を担う —

発売後は多くのメディアから注目を浴びた。全国紙の掲載やBSのTV番組などに出演した際、「5軸複合加工機がなければ製造できなかった」と開発秘話を語ると、導入した加工機メーカーであるヤマザキマザック(株)の副社長が、感銘を受けてはるばる来社された。副社長から「ものづくりへの情熱が伝わった。私は御社のファンだよ」と声をかけていただき、世界的企業から認めてもらえてとても感動した。専務は「開発しなければ、会社は潰れていた。決して一人で作り上げたわけではなく、従業員があらゆる面でサポートしてくれた。本当に人に恵まれている」と感謝の気持ちを忘れない。

その想いは商工会にも向けられている。5軸複合加工機導入の際、商工会から「ものづくり補助金」を提案され、申請の結果、採択を受けることができた。専務は「職員が親身になって相談に乗ってくれてとても助かった」と語ってくれた。

LTクッカーのヒットを機に、アウトドア商品を製造する自社ブランド「TMR industries」を立ち上げた。併せて、本業である金属加工業の経営方針を大幅に転換し、値下げ競争から一線を画して現在の取引先と適正単価で仕事ができるよう交渉を進めた結果、売上額は過去最高を記録し、現在も右肩上がり続けている。ブランド名の「TMR」は祖父と父が続けてきた(有)田村工機のTAMURAが由来。専務は「これでようやく親孝行ができるかな」と笑みをこぼした。



(左) 戸頃専務 (右) ヤマザキマザック(株)の副社長。導入した加工機の前で記念撮影。

真岡の町工場から、世界へ

LTクッカーは、アメリカでも特許を取得した。専務は「今後、海外展開を予定している。当社は真岡の小さな町工場だが、日本の技術力は凄いということを世界に見せたい」と力強く語った。今年5月、(有)田村工機は「はばたく中小企業・小規模事業者300社」を受賞。この賞の名のとおり、これから世界に向けて大きく羽ばたいていくだろう。

那須町商工会の菅原主任は、各種補助金や融資制度などの情報収集を積極的に行い、会員企業に最適な提案ができるよう心がけている。今号は、マル経融資を活用して販路開拓に取り組んだ事例を紹介する。



(左) 井上敬二郎代表取締役 (右) 商工会の菅原主任

■創業のきっかけ

井上敬二郎代表取締役（以下、井上代表）は 2018 年、義父の病気を機に妻の実家の那須町へ移住し、家業の米農家を承継。自家栽培米の付加価値向上と販路開拓に取り組もうと、移住前にカフェを経営していた経験から、お米を使ったスイーツを製造・販売するため同年、(株) TINTS（ティンツ）を創業。お米を使用した様々なスイーツや、ジェラートを製造し、店舗を新設して販売したいと思案していた。

■補助金制度を活用

井上代表は、ジェラートマシン等の設備導入にあたり、ものづくり補助金を活用したいと菅原主任に相談した。これを受けて、菅原主任は事業計画及び事業内容を確認し、申請支援をサポートして採択された。さらに、各種補助金制度と併せて活用できる様々な設備資金の融資制度の提案を行った。

■マル経融資を活用して

井上代表は、「新事業はすぐに成果が出るものではないため、返済総額は増えたとしても、毎月の返済を抑えることで、資金繰りの安定化を図りたい」と考えていた。菅原主任はその考えに合致する融資制度として、日本政策金融公庫（以下、公庫）のマル経融資を提案。無担保・無保証人、返済期間が長い（最長 10 年）ことなどを丁寧に説明し、融資に必要な推薦書の作成・申請を行った。井上代表は「今まで公庫との接点なかったが、菅原主任が間に入り、手続きをしてくれてとても助かった」と大きな信頼を寄せている。



(左) 「たぬき社」外観。店名は地名から名付けた。2頭のヤギたちがお出迎え。

(右) 本場イタリアから輸入したジェラートマシン

■たぬき社のオープン

各種補助金制度とマル経融資の活用により、従業員が誰でも品質を保ちながらジェラートを製造できる体制を整えた。2024 年に店舗の「たぬき社」がオープンすると、ジェラートは人気商品となった。ジェラートのカップのデザインにも小規模事業者持続化補助金を活用しており、申請支援に菅原主任も携わった。新たな販路も着実に増えており、現在の来店客数は前年の約 1.5 倍に増加。売上も好調に推移している。

■地域貢献と今後の展望

井上代表は今後について、この那須町のたぬき社を始まりの地として大切にしながら、直販の店舗を増やしたいと考えている。今年 6 月には、自社の芝生広場にて「田んぼフェス」というイベントを実施。約 400 名が来場した。井上代表は「直販やイベントを通して、生産者の想いを多くのお客様に伝えたい。農業のみならず、里の保全にも関心を持ってもらえたら嬉しい」と笑顔で語った。菅原主任は井上代表の想いを汲み取り、今後も最適な提案ができるよう努めながら伴走支援を続ける決意だ。



米粉ジェラート「たぬジェラ」。那須産のミルクと旬の果物・食材を使用



挨拶する薄井会長

5月28日、ホテル東日本宇都宮において、商工連の第65回通常総会が、福田富一知事、関谷暢之県議会議長をはじめ、関係機関や経済団体の方々を来賓に迎えて開催された。商工連の薄井正明会長は、「とちぎ中小企業応援隊事業」など昨年度の事業を報告したのち、「今後も県内33商工会と共に、『会員企業の繁栄・発展を図ることを組織の目的とし、活動理念である『全ては会員のために』を実践していく』と力強く挨拶した。



議長を務める長理事

総会では、議長に商工連の長 光博理事（下野市）を選出し、令和7年度事業報告及び収支決算など5議案を慎重審議した結果、全て原案どおり可決決定された。

役員の補充選任では、理事1名の辞任に伴い、新理事に人見和夫会長（那須塩原市）が選出された。任期は、令和9年5月30日までの残任期間となる。

令和7年度事業報告（重点項目の概要）

1. 企業支援の強化・充実

全商工会で伴走型小規模事業者支援推進事業を実施した結果、各商工会において事業計画等の策定支援が進んだ。また、価格転嫁対策支援では、価格転嫁の取り組みが困難な小規模事業者へ専門家を派遣して具体的・実践的指導を行ったほか、経営指導員向けにセミナーを開催し支援体制の充実を図った。

2. 商工会の組織強化

商工会の支援力強化に向けた他の支援機関との連携では、3機関連携「とちぎ中小企業応援隊」の更なる連携強化と事業承継・引継ぎ支援センター及び日本政策金融公庫等との連携強化を図った。

3. 人材育成の強化・充実

職員の公的資格取得支援及び能力強化事業の実施では、WEB研修の推進や1次試験の受験料等の助成などを行った。結果、1次試験に2名が合格し、中小企業診断士への足掛かりとなった。

4. 中小企業・小規模事業者の経営環境整備に向けた要望活動の実施

地域経済活性化と中小企業・小規模事業者の成長・持続的発展のために、中小企業・小規模事業者対策予算の拡充や物価高対策並びに適正な価格転嫁に向けた支援、老朽化した指導施設である商工会館に関する助成など11項目について栃木県知事及び栃木県議会議長へ要望を実施した。

商工連役員の紹介



理事

ひと み かず お
人 見 和 夫
(那須塩原市)

新会長の紹介

湯津上



こ ばやし かつ み
小 林 勝 美
(有)林屋油店
(燃料小売業)

- ・平成元年から理事
- ・平成16年から副会長

薄井会長が正副議長と懇談



4月24日、商工連の薄井正明会長は県議会議長に就任した関谷暢之氏(写真右)、副議長に就任した白石資隆氏(写真左)を訪ね、中小・小規模事業者への支援と引き続きの連携をお願いした。

中小・小規模事業者のための 県火災共済

財産を守る！リスク対策に！

台風・落雷シーズン到来！！
盗難、水災等にも対応可能！

お近くの商工会が代理店です。
お気軽にご相談ください。

栃木県火災共済協同組合

TEL: 028(637)3730

FAX: 028(651)5110

県青連第59回通常総会



挨拶をする高根沢県青連会長

県青連は5月7日、第59回通常総会をホテルニューイタヤで開催した。

総会では、議長に寺内理事(野木町)を選出し、令和8年度の新事業を盛り込んだ事業計画など3議案が慎重に審議され、全て原案どおり承認された。

県女性連第61回通常総会



挨拶をする山田県女性連会長

5月8日、県女性連は第61回通常総会をホテル東日本宇都宮で開催した。

総会では、議長に瀬尾理事(益子町)を選出し、令和8年度の事業計画など3議案が慎重に審議され、全て原案どおり承認された。

とちぎ中小企業応援隊 令和8年度 合同出張相談会の開催

会員事業者や創業を検討している方等を対象に、県よろず支援拠点・県信用保証協会・商工会の3機関に加え、県事業承継引継ぎ支援センター及び日本政策金融公庫とも連携し、合同出張相談会を下記のとおり開催します。この機会を是非ご活用ください！！【お申し込みは最寄りの商工会まで】

経営の悩み、お任せください！



開催日	場 所	開催日	場 所
9月10日	那珂川町商工会 (県東地区対象)	9月11日	西那須野商工会 (県北地区対象)
11月5日	那須町商工会 (県北地区対象)	11月6日	氏家商工会 (県央地区対象)
1月21日	岩舟町商工会 (県南地区対象)	1月22日	上三川町商工会 (県央地区対象)



福田富一知事と受賞された
長 光博会長

6月15日に県公館で行われた「栃木県各種功労者及び優良団体表彰」において、下野市商工会の長 光博会長が産業振興功労者として表彰された。

氏は平成14年に旧国分寺商工会長に就任。平成24年に南河内商工会と合併した下野市商工会が成立し、令和元年に同商工会長に就任した。令和6年からは商工連理事としても活躍されている。

旧国分寺商工会の会長に就任後、増加している空き店舗を活用して、青果店「マロニエ」を開店。市街地の活性化につなげた。また、「天平の花まつり」や「天平の芋煮会」など地域のイベントに協力。さらに、地元購買率の向上策として、共通プレミアム商品券の発行事業を推進している。

商工会の活動等を通して地域の商工業の振興と地域経済の発展に大きく寄与したことが認められた。

令和8年度 業務改善助成金のご案内

詳細はこちら

業務改善助成金は、事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）を50円以上引き上げ、生産性向上に資する設備投資等を行った場合に、その設備投資等にかかった費用の一部を助成する制度です。詳細や最新情報は、上記QRコードをご覧ください。



対象となる設備投資など

- ・機器設備の導入
(例) POSレジシステム導入による在庫管理の短縮
- ・経営コンサルティング
(例) 国家資格者による顧客回転率の向上を目的とした業務フロー見直し
- ・その他
(例) 顧客管理情報のシステム化

補助上限

30万円～最大600万円

※引き上げる賃金額のコースと人数に応じて変わります

助成率

事業場内最低賃金：1,050円未満	4/5
事業場内最低賃金：1,050円以上	3/4

申請 期間

令和8年9月1日～最低賃金の
発効日の前日又は同年11月30日の
いずれか早い日

賃金引上げ 期 間

令和8年9月1日～
最低賃金の発効日の前日

問い合わせ先：業務改善助成金コールセンター ☎0120-366-440 (受付時間 平日 9:00-17:00)

知的財産等のご相談は日本弁理士会関東会まで

日本弁理士
会関東会HP

弁理士は特許、意匠、商標など、知的財産に関する専門家です。例えば、新製品の特許を取りたい、新商品のネーミングについて同じ名前がないか・真似されないか、自社製品の模倣品が売られているなどのご相談・お悩みで弁理士を探している場合、弁理士紹介制度を活用ください。



問い合わせ先：日本弁理士会関東会 ☎03-3519-2751 E-mail: info-kanto@jpaa.or.jp

相談無料

賃上げ環境整備支援事業を活用してみませんか

商工会では、賃上げ環境の整備を検討している中小・小規模事業者向けに、令和8年6月から「賃上げ環境整備支援事業」を実施しています。「従業員の給料を上げたい」「価格転嫁や生産性向上をするにはどうすればいいか知りたい」などのお悩みがある方は、最寄りの商工会にご相談ください。

①課題掘り起こし

商工会職員と中小企業診断士が事業所を訪問し、賃上げ環境整備に向けた課題の掘り起こしを行います

②課題の解決支援

無料で利用できる商工会の専門家派遣制度のほか、生産性向上支援センター（よろず支援拠点内）、とちぎ中小企業応援隊などを活用し、課題解決につなげるための支援を行います

賃上げ
環境の
整備へ

？ 伝票整理が煩雑で経理が進まない！ 人が足りずお客様を待たせちゃう 人材育成にかかる時間が取れない！

こんなお悩みには

省力化ナビ

無料



「省力化ナビ」は、中小・小規模事業者の省力化、生産性向上を後押しするための具体的な解決策と取り組み方法を知ることができるサイトです。業種別のお悩みと、その解決策をイラストで紹介し、省力化への第一歩をわかりやすくサポートします。
※省力化ナビを活用すると、「中小企業省力化投資補助金（一般型）」、デジタル化・AI導入補助金の採択審査で加点されます。

中東情勢関連の各種支援 特設サイトのご紹介

中東情勢関連対策
ワンストップポータル



経済産業省が最新情報を掲載

中東情勢等を踏まえた
中小企業・小規模事業者向け支援



中小企業庁が状況に応じた施策を案内

雇用調整助成金のご案内

中東情勢による原材料の入手困難や価格高騰等に伴い事業活動を縮小する際、従業員の雇用維持のため、休業や教育訓練等を実施した場合、従業員に支払った休業手当等に対して助成が受けられます。

対象者

次のいずれにも該当する事業主が対象です。

- ①雇用保険適用事業主
- ②最近3か月の生産量等の生産指標が前年同期と比べて10%以上減少
- ③最近3か月間の雇用保険被保険者数等の月平均値が前年同期と比べ、一定規模以上増加していない
- ④実施する休業等が労使協定に基づいた休業等の実施

助成内容

助成率（休業・教育訓練）	2 / 3
日額上限額	8,870円 ※雇用保険基本手当日額上限額（R7.8.1 現在）
対象労働者の要件	雇い入れ後6か月以上の雇用保険被保険者
支給日数	100日分 ※各事業所の対象労働者数×100日分

【お問い合わせ先】

ご相談は、管轄のハローワーク等で承っております。下記QRコードでご確認ください。また、その他の支給要件は、雇用調整助成金ガイドブックでご確認いただけます。

お問い合わせ



ガイドブック



雇用調整助成金サイト



相談
無料

カスタマーハラスメント防止対策 事業者向け相談窓口のご案内

令和8年4月1日から「栃木県カスタマーハラスメント防止条例」が施行され、県は、カスハラ対策や労務管理に精通した相談員が対応する、事業者向け相談窓口を設置しました。対象は、県内に事業所を有する事業者および業界団体であり、電話相談・WEB相談が可能です。詳細は事務局HPをご覧ください。

こんなことに困っていませんか？お気軽にご相談ください

- ・ カスハラ対策は何から始めればよいか知りたい
- ・ 顧客からカスハラを受けているが、どう対応すればよいかわからない
- ・ 正当な要求とカスハラの境界線を知りたい
- ・ カスハラ対策のための従業員教育は何をすればよいかわからない 等

事務局HP



WEB相談



栃木県カスタマーハラスメント防止対策支援業務事務局 平日9:00~17:00

TEL:028-666-7752 ※電話相談は、原則として、1回あたり最大30分が目安となります

福祉共済「けがの補償」

ー請求忘れはありませんかー

福祉共済「けが」の補償は、仕事中だけでなく、日常のけがにも対応しており、通院は3日目から1日単位で請求することが可能です。事故が発生した場合は、所属の商工会にご相談ください。

けがの補償の主な支払い事例

- 道路を歩いていた時に段差に気付かず転倒。
足首を骨折し、
足首を32日間ギプスで固定。

2,000円コース加入

ギプス30日分と
12日通院で
126,000円
お支払い

※ギプス固定をした場合も、30日を上限に通院扱いとなります。
(ただし、固定部位に条件あり)

- 風呂場で足が滑り転倒。
足の捻挫と打撲、切り傷。

シニアプラン加入

58日通院と手術で
109,000円
お支払い

- 階段を下りる途中で踏み外し
左膝を強打。
膝の打撲と捻挫で接骨院に32日通院。

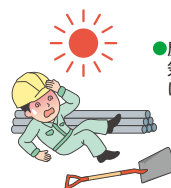
2,000円コース加入

通院30日分で
90,000円
お支払い

※接骨院・整骨院での柔道整復師による施術も通院の対象となります。
(ただし、支払い日数限度あり)

けがの補償で熱中症も補償

※傷害ライトプランは対象外



- 屋根工事をしていた
気分が悪くなり、
けいれんを起こした

28,000円
お支払い

商工会をもっと身近に！
各地の商工会をご紹介します

商工会から
こんにちは

にのみや商工会
TEL: 0285-74-0324

にのみや商工会は、早瀬会長のもと、現在職員4名体制で運営しています。真岡市二宮地区は特産品のいちごなど農業が盛んな地域であり、近年農作物販売者の会員加入も多くなっています。しかし全般的には会員数の減少、商店街の衰退化など多くの課題がありますので、必要な支援を迅速に行い、会員企業の持続的発展に貢献できるよう努めています。

経営改善普及事業や経営発達支援事業などによる経営支援のほか、地域振興事業では青年部女性部も一体となって積極的にイベントを推進しています。

地域のイベントとしては、7月は熱気あふれる御神輿で賑わう久下田祇園祭、8月は鬼怒川の河川敷で開催される尊徳夏まつり大花火大会などが有名です。

尊徳夏まつりは今年でファイナルを迎えることになりました。近距離で尺玉などが上がる迫力ある花火大会も今年最後となりますのでぜひご観覧にお越しください。



左から
前列…寺田主任、早瀬会長、石川主事補
後列…田中主任、斉藤課長

商工会では新規会員を
募集しています



是非、お仲間をご紹介ください。 商工連HP
詳しくは、最寄りの商工会までご連絡ください。